

事業計画名 鳥取県の契約農家が栽培した薬草を活用した健康茶の販路拡大事業

健康茶の販路拡大、需要拡大に伴い、生産に大きな課題であった異物除去工程に検査機器を導入して、安全・安心の生産体制を確立

計画の概要

契約農家が栽培した薬草の異物除去工程を機械化し、「コスト削減」及び「安全性の担保」を行い、消費者に産地の明確な安心・安全の健康茶の販路拡大し、さらに耕作放棄地を活用して収量を増やしていき、契約農家の収入アップを目指す事業。

株式会社 ゼンヤクノー

■事業者名	株式会社 ゼンヤクノー
■代表者名	代表取締役社長 森下 慎太郎
■設立年	1947年(昭和22年)創業
■所在地	本社／〒680-0905 鳥取県鳥取市賀露町4001 Tel.0857-28-2521 Fax.0857-28-4688
■資本金	14,000千円
■従業員数	25人(平成29年8月末時点)
■業務内容	(食料品製造業) 各種健康茶(鳥取はとむぎ茶、ほうじはま茶、鳥取のなた豆ブレンド茶、たんぽぽ子育茶、たんぽぽコーヒーなど)・食品の開発、製造販売



代表取締役社長 森下 慎太郎

事業の取組内容

- 製造工程において「X線異物探知装置」を生産ラインに導入し、不適合数の改善を検証。
- 使用している薬草の特性(加工状況)や薬草の配合バランスによりX線異物探知装置の設定を微調整して検証。

ライン	設置前不適合数	設置後不適合数	改善数(個)
1	178	68	110
2	112	67	45
3	2	15	▲15
4	10	3	7



お客様に安心安全な商品をご提供します

●事業の概要とその成果

- ①薬草の異物除去工程の機械化による効率の向上・異物除去可能性は約2倍以上に向上
- ②製造部門の生産生成が大きく改善され、販売可能性が約2倍以上見込まれた。
- ③異物除去工程の効率がアップし、H28年産より契約農家に対して作付面積の拡大の依頼が可能になった。



はと麦茶から検出された異物のX線画像



以前は見落としがちな虫やひも等の異物混入

事業化の可能性と展望

●当初の事業化への目標

- ①最終消費者に対して、今まで以上に商品の安全性がアピール出来るようになった。
- ②バイヤーや新規のスーパー・百貨店、通販企業大手等との取引において、X線異物探知装置導入、ISO22000の第三者認証工場としての取組が認知され信用度が高まった。
- ③鳥取県内の生産農家等に対して、異物検査機能が強化されたことにより、検査手間が省力化され、作付拡大に目が向けられつつある。



事業のポイント

健康茶を製造して40年以上の実績と信用・信頼を持つ企業が、はとむぎ茶、はま茶等の健康茶の需要拡大に伴い、異物混入の検査機器を導入して、安全・安心の生産体制を確立し、販路拡大に役立っている。また原材料仕入れの契約を行っている地域の生産農家の異物検査作業の省力化にも貢献した農家の生産量拡大支援の取組でもあり、地域連携、信用拡大と販路開拓を目指した事業となっている。

企業概要

当社は、健康茶製造40年以上の実績からの原料加工技術を持っている。原料は、主に鳥取県内の農家(個人や農業法人グループなど)と契約し、ハトムギ、なた豆、赤しそ、はぶ草、カワラケツメイの薬草を購入している。製品は、健康茶(はとむぎ茶、たんぽぽコーヒー、はま茶等)の生産を行い、販売先は、健康茶の需要の拡大から全国の大手の量販店・百貨店・各生協・お茶小売専門店・通販事業者・一部海外(香港・台湾・アメリカ・ロシア・EU圏)等、幅広い販路を持っている。



社屋外観

事業の計画概要

●設備導入のきっかけ

(現状)

- 安全、安心な商品を提供するという消費者への信用維持が最大の課題となっている。
- 契約農家から購入した薬草の「異物除去工程」が不十分なため、人手をかけて「目視選別」を実施しなければならぬ。
- 契約農家の薬草の収穫量を増やしたいが、「異物除去工程」の生産性の低さがネックとなっている。

(課題解決の対応策)

- ①製造工程に「X線異物探知装置」を導入して、異物混入を除去し、不適合数を改善する。
- ②契約農家の原料に混入する異物を除去する事により、業者レベルの信頼性を担保する。
- ③国際規格「ISO22000」食品安全マネジメントシステムの認証工場として、安全面・衛生面の地位を向上する。

(事業実施期間)

開始:平成27年8月～完了:平成27年11月

機械装置名	利用方法
X線異物検査装置	金属検出機では検出できない「ガラス」「石」「貝殻」「割れ・欠け」などの異物検査を実施



X線異物検査装置導入で正確さと生産性が格段にアップ